

令和元年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和元年5月23日（木）午前10時～午後0時50分  
場 所 多摩市立図書館 本館 講座室  
出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、  
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークルピエロ、  
ひなたぼっこ、もりの文庫  
欠 席 ひなの会

開会

（会長）

まず子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会の委員募集について、事務局から報告をお願いします。

（事務局）

3月から募集を行っているが、現在申込者がいない。

（会長）

委員の増加は懸案事項であるが、今回申込者がいなかった。募集方法など反省をしなければいけないと思う。皆さんのご意見をいただきたい。

（委員からの主な意見、質問等）

- ・事務局も努力し、たま広報にも載せたのに応募がないのはとても残念である。私個人も事務局任せにしないよう、図書館への協力団体に声掛けをしたが、平日の会議に参加するのが難しい、また普段の活動だけで精一杯で代表を出すのが難しいという意見があった。仕事を持ちながら活動している団体もあり、会議を土日にも開催するなど、工夫が必要である。そのグループだけでは解決できないこともあると思うので、ぜひ参加してほしいと思う。また、今回の募集期間だけではなく随時申込できることも、機会あるごとに周知する必要がある。
- ・図書館から、ほんともフェスタの協力団体等に個別の働きかけを行ったのか。  
→図書館で把握しているボランティア団体に文書を送付した。学校で活動している読み聞かせ団体については、学校長宛に通知した。

（会長）

随時募集すると確認されているので、今後、開催時間の変更なども相談しながら募集を行っていきたい。

(会長)

図書館長に同席いただいているので挨拶をいただきたい。

(図書館長)

第三次多摩市子どもの読書活動推進計画は、皆様のご協力をいただきながら、第一次計画、二次計画を進めてきた中で、課題として残っている部分を出来る限り進めていこうと作成した。昨年度は、具体的な実施方法や実施時期を、関係課や学校でも検討いただき、アクションプランという形で行動計画に起こした。昨年度も含めた6年間の中で、皆様と前に向かっていきたいと思っている。

多摩中央公園に建設する図書館の新本館については、今年度は設計に取り組んでいる。市民公募しワークショップを3回実施する。6月8日に第3回目のワークショップを行う。その後説明会も7月に予定しており、6月20日の広報でお知らせする。

新本館が建設された際には、拠点の一つとして皆様と活動してゆきたい。

(事務局) (事前送付資料、当日配付資料の確認)

- 1 第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録案の確認  
(訂正事項) P.3 「子供連れ」→「子ども連れ」に訂正

(会長)

(指摘があった箇所について修正・確認の上) 確定とする。

## 2 報告事項

- (1) 子どもの読書活動推進に関する主な事業等について

(事務局) (資料に基づき説明)

図書館主催講座「はじめてのよみきかせ」については、申し込みが多く、フォローアップ講座を設けて欲しい等のご意見があった。各館のおはなし会にご興味がある方は直接見学に行くよう案内した。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・講座について、2時間1回のみではとても足りない。フォロー(第2回)について計画いただきたい。
- ・図書館の「各館のおはなし会」を任せるにあたり、よみきかせ講座の受講など、きちんとした基準を設けて欲しい。また各館のおはなし会ボランティアとして活動するには、団体に所属していないといけないのか伺いたい。  
→現在は、(新規も含め)団体に属して活動いただくことになっている。赤ちゃんお

はなし会については、よみきかせ講座を受けてからとしている館もあるが、ルール化まで至っていない。アクションプランにもボランティアについての記載があり、皆さんと話し合っていく必要があると考えている。

(会長)

この仕組みづくりは大切な課題なので忘れず話し合っていきたい。

(2) 平成30年度各館おはなし会実績

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ 関戸・聖ヶ丘図書館のおはなし会に関わっているが、参加人数に大人が含まれており、子どもの参加人数が分からない。子どもの参加が少ないと感じる。今後、実際の子どもの参加人数が把握出来るようにすべきである。
- ・ 実感として、子どもの参加が減ってきていると感じる。唐木田図書館ではどうか。
- ・ ひなたぼっこは結成・活動がここ1年なので、前年のことは分からない。いまお話を伺う中で、現代の子どもは読み聞かせに集中しづらく、また親もおはなし会に連れて行きづらいのではと感じた。まず行きやすくなる環境を整える必要があるかと思う。
- ・ 豊ヶ丘図書館で水曜日におはなし会を開催している。特に去年・今年はおはなし会以前に、図書館で子どもの姿を見なくなった。おはなし会目当てや調べ学習に来る子どもおらず、保護者も園児を連れてこない。そもそも図書館に子どもがいないなら、いる場所に出向こうと考え、今年度から保育園に出張し、特別おはなし会だけ日曜日に図書館で開催することにした。おはなし会を求めている場は多くあり、図書館内でのおはなし会には限界があるのではと考えている。
- ・ 聖ヶ丘図書館のおはなし会は減っているように見えるが、例えばデイサービスに通う子どもが参加しやすいよう、より良くするために開催時間やプログラムの組み方等を変更したこともあった。数字だけでは判断できない。

(会長)

実際におはなし会に関わる身には大切な話である。子どもの参加数が分からなければ実態が分からない。今後も皆で知恵を出し、子どもの集まる図書館のおはなし会になれば良いと思う。

(3) 平成30年度の推進連絡会、各推進連絡会の状況

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・会議内容を見ると、市民ボランティア連絡会は子供読書活動推進を進めていく上で、  
どういう役割なのかと疑問を持つ。アクションプラン作成について、他の連絡会では議論されており、市民ボランティア連絡会では議題に上らず、議論されないまま今日報告となった。

市民ボランティア連絡会では、ほんともフェスタのことが主な議題として進んでいる。子どもの読書活動推進連絡会を進めていく上で、この会議がどういう役割を果たすのかと思った。

- ・第二次計画中は、市民連絡会からも推進連絡会に参加していたと思う。  
→市民連絡会、庁内連絡会、学校連絡会の会長・副会長で構成されていた。  
第三次では、課長職と学校長で構成されている。
- ・(参加していない事で) 議論が見えず、突然アクションプランが出されたり、ほんともフェスタが図書館主催になったりした。市民ボランティア連絡会はどういう役割なのかと思う。

→市民ボランティア連絡会の役割は、要綱に規定をされており、「第三次計画に基づく子どもの読書活動推進において、主に市民ボランティアに関する事項の進行管理等に関する事」、「市民による子どもの読書活動の推進に関し必要と認める事項」「第三次計画に基づき、市民が行う読書活動の推進についての連絡調整に関する事」「その他、子どもの読書活動に関し、必要と認める事項」。進行管理等が具体的な役割のひとつである。

アクションプランについては次の議題で詳しく説明するが、このプランは図書館・関係課・学校がどう取り組むかをとりまとめたもので、市民ボランティア連絡会で直接作成するものではなく、今後このプランについて、本連絡会が進行管理をしていくことになる。

(会長)

(各委員は) 計画推進の一端を担えるようにと参加しているかと思うが、「進行管理」とは、具体的に何を指すのか。

→前回会議の資料4で、今年度の市民ボランティア連絡会で審議いただく内容を案として出し、認められたと認識している。今回はアクションプランの報告と、子ども読書まつりのあり方についての意見交換。2回目が第三次計画の30年度の進捗状況の報告と進行管理。3回目は赤ちゃんおはなし会の参加者へのフォローアップと、主催事業に保育付きの講座を設けることについて。4回目がおはなし会ボランティアの後継者の育成のあり方についてである。

#### (4) 第三次計画アクションプラン（平成30年度版）について

(事務局) (資料に基づき説明)

1 ページ目にアクションプランの考え方あり。第三次計画の具体的な取り組みの実

施方法と実施時期の検討を行いまとめたものである。毎年実施し、推進状況のふり返しを行い、必要に応じて変更を行う。学校については、取組み内容の抜粋である。

(図書館長)

第三次計画では施策が14あり、その具体的な取組み事項をどこの課が主体的に担当するかを記載している。アクションプランはその取組と担当課を落とし込み、6年間の年次計画としたので、これを見れば具体的な行動が分かる。

学校は、各学校単位で作成いただいたが、全校分はまとめて掲載できないので、項目だけを抜粋して掲載した。

地域のボランティアの皆さんと共により活性化をすべく、意見交換をしながら進めて行きたい。

(会長)

各自読み込んでいただき、次回、今後どのように関わっていくかも話し合っていきたいと思う。

(図書館長)

前回お出しした、今年度の市民ボランティア連絡会で審議いただく内容案が、アクションプランの中で、話し合っていきたいことを抜き出したものである。

(会長)

アクションプランを見る前で分からなかった部分もあるが、3回・4回の議題に提示されたものを、話し合う時期も含め、各自考えて準備いただきたい。

#### (5) 第10回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について (報告)

(事務局) (資料に基づき報告)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ 講座室で絵本カフェを行ったが、図書館職員の参加もなく、急ぎ入口に表示を出した。参加者が図書館窓口で問い合わせた所、本館の当日出勤の職員が開催自体知らなかった。図書館としてほんともフェスタに取り組んでいるのに、担当の範囲内では周知されていないのはおかしい。また、事前に職員は出られないと連絡があってもよかったと話題になった。
- ・ グリナード永山での展示について展示内容がひと目で分かる大きいPOPと、生徒たちのコメントについても表示の検討を。
- ・ 各館のおはなし会については、毎月定例のおはなし会と、ほんともフェスタのために行った特別おはなし会や絵本カフェなどの行事があり、その区別がつかないと報告書としての意味がない。またオープニングおはなし会は、通りがかりの人たちに声をかけて行ったので、対象年齢が想定していたものと違ったので、苦勞されたと感じた。

- ・オープニングのおはなし会に参加したが、事前に、状況や環境についての打ち合わせがあり、(他の)参加者も納得されていた。

(事務局)

今回のほんともフェスタについて、令和2年2月28日(金)～3月31日(火)、第10回とほぼ同様の内容でと考えている。

### 3 協議事項・意見交換

#### (1) 令和元年度「お団子作り」と「図書館おはなしの広場」について

(事務局) (資料に基づき説明)

昨年度協力いただいた団体に、ご協力いただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・ボランティアがお互いに呼びかけ合って開催したことがあったが、今回から、また図書館が実施していくということでよいか。  
→そうである。この場で了承いただければ、図書館から連絡をとってゆく。

#### (2) 「布の絵本」交流会との共催イベントの開催について

(事務局) (資料に基づき説明)

他の団体に加わっていただければ、子どもの読書推進活動をよりPRできる良い機会になるのではと考え、協力いただければと提案をするものである。次回会議でご回答いただければと思う。

(委員) (補足説明)

「布の絵本」交流会は2年に一度行われている。前回は立川で開催し、全国から作品が200点以上集まった。文庫連絡協議会も会員で、50以上の団体が参加している。会場で机を並べるにも人手が必要である。

(会長)

この連絡会として何が出来るか。

→(事務局)各団体に持ち帰り、協力いただけるか次回9月にご回答を。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・各団体で協力する方法と、この連絡会で協力する方法もある。
- ・協力団体がどのような役割で参加するか、図書館としてどう協力できるのかが見えないと議論しづらい。  
→会場がとれなければ開催できないので、詳しく詰めてはいなかった。  
図書館は障がい者支援の展示や、当日に向けての準備を考えていた。

(事務局)

会場確保後に話を詰め、次回会議に諮りたい。

(3) 子ども読書まつりのあり方について (中・長期的な課題についての意見交換)

(事務局)

説明だけさせていただき、次回ご意見をいただきたい。(資料に基づき説明)

今回 10 回開催したところで、もう一度開催形態や主催などを見直し、次回会議で  
ご意見を頂きたい。

(図書館長)

前回好評だったので講演会を行いたいと考えているが、もう準備を始めなくては  
いけない。講師やイベント内容等についてご提案があればいただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・講演会はあった方がよく、進めていただきたい。オープニングおはなし会については  
色々な意見が出たことを踏まえ、検討すべきである。  
→ (図書館長) グリナード永山の展示会場で何かイベントをした方が良いと考えて  
いる。
- ・「集客イベント」と「おはなし会」があり、同じものと認識することに抵抗がある。  
名前の問題なのか、その場にふさわしいイベントを行えば良いのか。

4 情報交換及び次回日程について

次回日程

令和元年度 9 月 26 日 (木) 午前 9 : 40 ~ 12 : 00

情報交換

- ・文庫連だより、2月号~をお持ち帰りください。

(0時50分終了)